

安全運転管理



監修 岐阜県警察本部交通部
発行 岐阜県安全運転管理部会連合会

わが社の安全運転管理



佐伯総合建設(株) (加茂・可児部会)

安全運転管理者
水口 雄志

交通災害ゼロを掲げ 日々の安全運転管理に取り組む

わが社は、総合建設業として岐阜・愛知を拠点に公共事業、および一般企業の社屋や店舗、工場や倉庫等の建設等に携わっています。おかげさまで本年、創業60周年を迎えました。

現在、全社で68名の従業員が勤めており、社有車総数56台を管理しています。当社は、安全衛生管理のしくみの構築をめざし、協力会社(下請会社)を交えて過去の労働災害・交通災害の事例を基にリスクアセスメントを実施し、重点項目の対策を実施してきました。その後、平成23年12月に労働安全衛生マネジメントシステム(COHSMS)の認定を取得し、労働災害ゼロ、及び交通災害ゼロを掲げ運用展開しています。

また、年度初めに開催する社員総会のなかで前年度に取り組んだ安全衛生活動の内容とその成果を総括し、あわせて次年度の活動方針の決定事項を発表しています。

この内容を踏まえ、安全衛生委員会が主体となり毎月の委員会およびパトロール、2か月に1回開催する安全衛生会議

のなかで目標達成に向けた活動計画の進捗状況のチェック等を行っています。



交通安全講習会を開催し意識高揚を図る

交通安全講習会を毎年開催し、所轄の交通課長さんや協会の職員の方に講話等を依頼して安全意識の高揚を図っています。また、シミュレータを使った運転適性検査を全社員に受けてもらったこともあります。診断結果には、運転者のクセや弱点の確に評価されますので、個々の運転適性を把握することができます。

この結果を活用して、それぞれの運転者に適した走行時の注意ポイントやアドバイスを行うように努めています。

ほかにも、無事故・無違反コンテストに事業所で6組ほどのチームを編成し、毎年挑戦しています。

なお、社内でも表彰制度を設けていますが、ここではコンテストで無事故・無違反を達成したチームを表彰したり、ゴールド免許を取得した従業員を優良運転者として表彰しています。